

\*\*\*\*\*

2014 年度 第 2 回 音環境運営委員会 議事録

記録：安田

\*\*\*\*\*

- A. 日時 2014 年 9 月 18 日（木）17 時 00 分～19 時 00 分
- B. 場所 建築学会会議室
- C. 出席者 岡野利行（主査）、穴井 謙、岩本 毅、古賀貴士、佐久間哲哉、杉江 聡、田端 淳、中澤真司、永松英夫、平松友孝、平光厚雄、宮島 徹（幹事）、安田洋介（幹事）
- 欠席者 稲留康一、井上勝夫、坂本慎一、佐藤 洋、佐藤史明、濱田幸雄（敬称略）
- D. 提出資料

2014 年度第 2 回音環境運営委員会議事次第

No. 2-0 2014 年度第 1 回音環境運営委員会議事録（案）

No. 2-1 2014 年度第 2 回環境工学本委員会議題

No. 2-2 2014 年度第 2 回音環境運営委員会審議事項メモ

E. 議事記録

0. 前回議事録の確認（資料 No. 2-0）

- ・承認された。

1. 環境工学本委員会（2014/9/18）の報告（資料 No. 2-1）

(1) 直営出版物・シンポジウム関連

- ・ AIJES：他分野では残部が多いうちに改訂に至っているケースもある。改訂後は、改定前の版は廃棄処分となるため、残部の多いもの（音声伝送 AIJES 等）については、講習会やシンポジウムを企画し販売を促進する方法を検討する必要がある。音声伝送 AIJES 編纂時の佐藤洋主査に検討をお願いする。
- ・ シンポジウム：現時点では 10 月に開催されるハンズオンセミナーのみである。
- ・ 講習会・シンポ等の動画配信・e ラーニング化：原則同時中継による動画配信を行うことになっている。
- ・ 調査研究委員会におけるシンポジウムの運営方法について：調査研究活動に基づく収入は過去 10 年間で 45% 減。積極的に開催してほしい。

(2) 2015 年度委員会活動計画案・予算原案関連

- ・ 10/24（金）までに事務局に提出とのこと。10/17（金）までにサーバーにアップロードをお願いする。
- ・ 配分については、2015 年度も同じ方針である。
- ・ 今年度予算については、ぜひ 100%の執行をご予定いただきたい。

(3) 大会関連

- ・ 2014 年度大会報告：「どの分野でも教室が狭かった」「マイクロフォンを同時に 2 つ使うとうまく機能しなかった」「発表時間が短い。連報を短くする点を見直した方が良い」などの意見があった。
- ・ 2015 年度大会関連日程：11/20 が OS 提案締切のため、10/24 までに事務局に提出とのこと。4/7 原稿提出（電子投稿）締切。4/20 プロ編。開催日程は 9/4-6、場所は東海大学湘南キャンパス。
- ・ 2015 年度大会環境工学部門研究協議会企画案：テーマ案は「アジアに映る環境工学の未来」。登壇者として、音環境から推薦すべき方がいればご連絡いただきたい。
- ・ 2015 年度研究懇談会：2014 年度に続き、2015 年度も学会奨励賞を受賞した研究者によるものとする。
- ・ 細分類・細々分類：地球環境委員会より、環境工学内に細分類として「木材」を入れてほしいとの提案あり。

- ・大会研究集会の AIJ デジタルライブラリー化：大会終了後 1 年後に無償公開とする。

#### (4) 賞

- ・大賞：候補者の推薦に関する申し合わせとして、推薦候補が 2 人以上になった場合、投票を行うことが定められた。複数候補の場合は 11/28（次回環境工学本委員会時）に投票を行うため、それまでに資料を提出する必要がある。提出日程は後日事務より連絡がある【11/10 迄に事務局に提出】。安岡先生を、本運営委、環境振動運営委、電磁環境運営委とで共同推薦の予定。推薦書等の作成は、昨年同様田端委員と濱田委員にお願いする。
- ・文化賞：会員以外の個人が対象である。大賞と同じ日程である。
- ・教育賞：候補者の推薦がある場合は、今月末までに事務局に手続きを行う必要がある。

#### (5) 委員会設置・委員推薦

- ・若手奨励特別研究委員会設置：今月中に事務局に提出とのこと。予算は 1 委員会あたり 100 万/年が上限。
- ・卒業論文等顕彰事業委員会選考部会委員：音環境分野からの委員が不在の期間が長い。来年度検討したい。
- ・規準・仕様書等のあり方検討タスクフォース委員推薦：環境工学委員会にも推薦の依頼があった。佐土原先生が推薦され、決定した。司法支援（裁判での使用を想定する必要性、意識と役割・作成プロセスについて再検討の必要性）、損害賠償請求訴訟、著作権といった問題への対応が求められている。
- ・環境工学連合講演会 運営委員推薦：望月先生（千葉工大）が推薦された。
- ・特別研究委員会設置提案募集：提案者の資格は、本会会員、または複数の調査研究委員会である。
- ・2015 年度技術部門設計競技：2015 年度は環境のエンジニアリング分野に特化した課題設定である。2016 年度から仕組みが大幅に変わる。10 月中に課題決定。光環境運営委から提案があり、光+他の環境要素がテーマとなる可能性がある。1 等の賞金は 50 万円である。課題に関する提案があれば出してほしい。

#### (6) その他

- ・5 年を経過した AIJES について：2015 年度は他分野で 2 件あり。音環境はなし。

## 2. その他報告事項

### (1) 集合住宅音環境規準・設計指針の進捗状況

- ・企画刊行運営委員会で検討中の AIJES 作成フローの見直しについて環境工学本員会で中間報告があった。
- ・既存の 4 つの категорияに加えて、「技術の現状」・「考え方」などの新 categoria を設けることで検討が進んでいる。新 categoria の出版を当初から目指すことはしない。新 categoria を含むフロー案を 11 月に提出し、2 月に決定したい。
- ・佐土原主査は、現時点では企画刊行運営委員会で査読者を決めるイメージである。
- ・9 月中に岡野主査までご意見をいただきたい。取りまとめた後、10 月の早い時期に佐土原主査に伝える。
- ・関連意見
  - ・新 categoria を基準・指針 (ES) にする手続きが示されていない。パブリックコメントもない。
  - ・番号については今後検討のようであるが、つかないのは不都合である。
  - ・ES を目指して作成したものが新 categoria になる場合、表紙の文言が変わるだけで内容は同じになってしまう。少なくともまえがきでの丁寧な説明等がないと、新 categoria として成立しないのではないかと。  
⇒ 企画刊行運営委としては、基本的に内容ではなく体裁で対応するとのこと。
  - ・フロー内の Yes、No の判断基準が明確になっている必要がある。判断についての記録も重要である。

## 3. 審議事項

(1)教育賞（教育業績）の候補推薦

- ・藤本先生（九州大）を候補として進める。9/30 迄に事務局に書類を提出するよう、推薦書等の作成を穴井委員にお願いする。

(2)2015 年度開始特別研究委員会公募

- ・提案があれば早めにご連絡いただきたい。

(3)2015 年度大会（関東）オーガナイズドセッション

- ・候補として、室内音響関連（方向情報やその測定法など）、固体音関連（床衝撃音など）が考えられる。
- ・室内音響関連を想定し、室内音響小委の佐藤先生に打診する。

(4)2015 年度大会（関東）細分類・細々分類の変更

- ・案として、数値解析の分類を追加することも考えられるが、今回は変更なし。

#### 4. 各小委員会・WGの活動報告

① 固体音小委員会（稲留主査）

- ・6/5、小林理研にて、床衝撃音（ボール衝撃）に関する低音域の室内音圧分布を実施。委員会を7/14に開催。測定結果の考察、今後の分析内容について議論した。次回は9/30。

② 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会（岩本主査）

- ・7/25 開催。室内静ひつ性の現状を把握するための音源データの収集及び文献調査を継続。次回は10月半ば。

③ 建築音響測定法小委員会（杉江主査）

- 8/4 開催。6/3～4 に測定した PU センサーでの音響エネルギー密度測定結果について議論した。低域での校正方法が難しく、課題である。フランクキングの基礎実験についての討議も行った。次回は10/3。

④ 室内音響小委員会（佐久間委員代理報告）

- ・2つのWGが着実に動いている状況である。

⑤ 音響数値解析小委員会（安田委員代理報告）

- ・9/16 開催。境界条件としてのインピーダンス測定結果の整理・公開方法、ベンチマーク問題の追加・修正について議論した。10/25 に開催予定のハンズオンセミナーの打ち合わせを行った。次回は12月中。

⑥ 音環境規準検討小委員会（古賀主査）

- ・6/25、8/25 に開催。集合住宅の AIJES 案に対する対応に関して議論した。次回は11/5。
- ・大会 OS での AIJES 全般に関する意見：早く出版するのが大事（E-book 化など）。議論の中間時点でも公開すべき。良い意味でのマッチポンプや、よいものの具体案を示すことが大事。

⑦ 企画・広報WG（中澤主査）

- ・7/16 に開催。建築音響関連の出版物について、時代との適合性、お勧め度等の見直しを行っている。評価シートの作成を目指し議論している。次回は9/30。

- ・見学会の開催については手続きが煩雑化している。委員会同士の共催は不可、学会間で行うべきとのこと（協賛等で予算が絡まないものは自由に行えるとのこと）。

⑧その他 なし。

5. 他学会・研究会の予定 報告なし。

6. その他 なし。

7. 次回以降の予定 11月28日（金）、2015年2月17日（火）

以上